

科目名	柔道整復術適応の臨床的判定(医用画像の理解を含む)					
分野	専門分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	2学年 1学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	本授業では、けがの状態を画像から読み取る方法について学ぶ。画像診断には、レントゲン(単純X線)、超音波検査、CT、MRIなどがあり、それぞれの特徴と見方を理解する。画像を正しく読み取る力は、柔道整復師が接骨院で安全に施術を行うために重要である。また、病院などの医療機関と連携する際にも必要な知識となる。 授業では、柔道整復師が関わることの多い上肢の脱臼を例に、けがの判断方法、経過の確認、適切な施術方法について、画像の見方とあわせて学習する。					
学習の到達目標	国家試験出題基準に基づく専門知識を体系的に理解し、国家試験合格に必要な学力水準に到達する。					
成績評価の方法と基準	出席基準を満たした者については、試験結果を考慮し評価する。					
使用テキスト	教科書(施術の適応と医用画像の理解、柔道整復学・理論編)					
参考文献	なし					
実務経験を有する者	○					
講義計画	講義内容					
1	施術の適応判断の必要性、適応の判断、柔道整復術非適応が疑われる症状と所見の理解					
2	レントゲン撮影法とレントゲン所見の読影法の理解①					
3	レントゲン撮影法とレントゲン所見の読影法の理解②					
4	超音波診断装置の描写方法と超音波所見の理解①					
5	超音波診断装置の描写方法と超音波所見の理解②					
6	鎖骨の脱臼の病態・治療法・予後に対する理解					
7	肩関節脱臼(反復性脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解①					
8	肩関節脱臼(反復性脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解②					
9	肘関節後方脱臼の病態・治療法・予後に対する理解					
10	肘関節前方脱臼・肘内障の病態・治療法・予後に対する理解					
11	手関節脱臼・月状骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解					
12	CM関節脱臼・DIP関節脱臼の病態・治療法・予後に対する理解					
13	上肢脱臼の総復習①					
14	上肢脱臼の総復習②					
15	総合評価(まとめ)					

(2026年度)